



聖心女子大学キリスト教文化研究所

聖心女子大学キリスト教文化研究所第 193 回研究例会

宗教系大学の社会貢献と

スピリチュアリティの教育 ～震災への取り組みを中心として

(共同研究総合テーマ：人間形成と霊性の教育—キリスト教と教育者の^{ミッション}使命)

講演者：弓山達也氏

(大正大学人間学部教授・本学非常勤講師)

日時：2011年11月14日(月) 17:30~19:00

場所：聖心女子大学 グリーン・パーラー



学生らに被災前の町の様子を説明する阿部忠義さん(中央)
=宮城県南三陸町、伊佐写真

南三陸町の入谷地区は、三陸
海岸から8kmほど離れた高台に
ある。津波の被害をまぬかれ、
500人が避難していた。
大正大学は仏教系で慈悲や共
生の精神を掲げる。震災を受
け、募金活動と共に入谷地区で
ボランティア活動に取り組むこ
とにした。学生と教職員が三十
数人ずつ4班に分かれ、4月10
日から順番に現地入り。町周辺
には大人数が泊まれる宿がな
く、往復3時間かかる岩手県一
関市のホテルを宿舎とした。
ところが、避難所である入谷

大正大130人、南三陸町でボランティア

大正大学(東京都)の学生、教職員たち総勢130人が4月、14日
間にわたって宮城県南三陸町でボランティア活動をした。苦境にある
人を助けたいと意気込む彼らが、まず求められたのは、作業ではなく
「見ること」だった。

町民が被災地を案内 思い共有

(朝日新聞 2011年5月9日夕刊8頁)

本学教職員、院生・学生、卒業生、
聖心会会員、姉妹校教職員等、
本学関係者で関心のある方は、
どなたでもご自由にご参加ください。

お問い合わせ 聖心女子大学キリスト教文化研究所
(ダイヤル) 03-3407-6089/大学内線 319)